

# 廃ガラス瓶リサイクルPを見学

## トーエイが開催

総合廃棄物処理業のトーエイ(本社愛知県東浦町、今津昭社長)は、廃ガラス



瓶リサイクルプラントの見学会「写真」を26、28日の3日間開催した。見学会には地元関係者や行政、関連する事業者など延べ100

人が参加した。

同施設は、リサイクルが

難しい緑や青などの色つき

瓶のリサイクル施設として

昨年9月に建設。処理能力

は日量最大400トンで、鉄

やアルミのほか、紙くずな

ども自動で選別し、ガラス

造粒砂に加工する。

加工してできたガラス造

粒砂は透水性が高く、地盤

改良工事のバイル砂や管の

埋め戻し材、路床材のほか、

グラウンドの水はけをよく

する暗渠材料などとして利用が可能。

参加者は、実際に加工し

てできた造粒砂を手にと

り、品質や安全性を実感し

たほか、土、造粒砂を敷き

固めたプラスチックケース

を使い浸透実験などを行い

製品をPRした。

今津社長は「4月の本格

稼働に向け自治体や関係機

関に協力をお願いしながら

リサイクル社会に貢献して

いきたい」と語った。